

令和元年年10月10日

人吉市議会議長 西 信八郎 様

厚生委員会委員長 高瀬 堅一

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

開催日時	令和元年7月31日（水）14時30分～15時30分
会 場	人吉市総合福祉センター 中会議室
出席議員	【委員長】高瀬堅一 【副委員長】松村 太 【委員】井上光浩、塩見寿子、池田芳隆（記録者）
団体名	人吉市保育園連盟
参加人数	12名
テーマ	令和元年10月から始まる保育料無償化に対する人吉市としての今後の展望
意見交換会の概要	<p>まず、原保育園連盟会長、高瀬厚生委員会委員長が挨拶を行った。また高瀬委員長から出席議員の紹介があった。</p> <p>その後、意見交換会へ移り、人吉市保育園連盟から人吉市負担額変動についての説明を受け、「数字は福祉課に確認したものではなく、連盟として試算したものなので、参考程度に考えてほしい。なお、予算の軽減が図られ、予算に余裕ができるなら、子どもたちのさらなる環境改善に使ってほしい」との依頼があった。</p> <p>議員から「複数の依頼があるが優先順位はあるのか」との問いに対し、連盟側からは「優先順位は難しい。他市町村では免除の話が出ている給食費の補助が目立ってくるのではないかと推測する。また、軽度障がい児に対し早期対応できないと、小学校に入った際に学級崩壊等につながるので問題と考える。保育園としては、幼少期からの対応について保健センターを通じ啓発をしている。子どもたちのさらなる環境改善の充実に使ってほしい」との申し出があった。</p> <p>議員から「軽度障がい児の相談はふえていると認識している。早く行っていればと後悔しないように、療育相談員の増員は認識している。今</p>

回は聞き及んでおくだけになるが、正確な数字が見えてくると、明確に回答ができるので、意見の一致が見えてくるならば改めて要望したいと考える」また、議員から「軽度障がい児の対応についても小中学校で問題になっている。上になればなるほど保護者の理解を得るのは難しい。0歳児などで、気づける時点で専門医の診断を受け、保護者自身に早い療育の必要性を伝える方法を検討したことがあるが、小中学校の先生たちと意見を交換する機会をつくっていただくとよいのでは。また、入学時検診の際に項目をふやしていただいて、機会をふやすことがよいのではないかと提案があった。連盟側は「軽度障がい児は0歳児から成長に問題があると感じるが、まだ0歳児の時は、保護者は子どもができた喜びで、理解することまでは行きつかないので、園として年齢に応じてできる限りの支援はしている。3歳6カ月ぐらいまでは市の検診があるので、保健センターと連携しながら支援が必要な場合はつなげるようにしているが、まだまだ3歳なのでと認めていただけない場合がある。また、3歳8カ月で検診が終わるので対応ができなくなる。その後に3歳の検診後に市外から転入された方は、保健センターとのつながりがないので、5歳児検診の完全実施をすることで小学校入学前までに支援が可能となってくる。現在は、5歳児はアンケートなので、気になる子どもの保護者はスルーをして、大丈夫な子どもの保護者が気にしている状態。気になる子どもの保護者には言えないので、5歳児検診があると、4歳児に行われる検診なので、あと1年数カ月は支援ができることになる。また、保護者は、子どもが家庭の中では他の子どもとの違いは理解できない。家庭では家庭のルールで生活をしているので、問題がないように思えるが、学校に行ったら社会になるので、そこで初めて気づく。5歳児検診を行うことで、社会に出たら生活しづらいことが出てくるので、重要なことと考える」とのことであった。

議員から「消費税増税分は福祉に使うと明言されているので、期待はしている。今後も半年に一度くらいはこのような会を開催していただいて、情報交換ができるとありがたい」と提案があった。

議員から「滞納状況はどのようになっているか」との問いに、連盟側は「保育料の滞納状況としてある保育園の昨年の状況の約3%程度である。給食費の滞納も出てくるのではと考えている」とのことであり、滞納者には苦慮しているとの認識は、議員、保育園連盟側同じであった。

委員長から「子どもたちのために保育園運営の努力をされていると理解できた。適切な回答ができなかったことは残念に思う。今後も、連盟としても執行部側に対しても行動を起こしてほしい」とまとめて閉会した。